

令和2年6月5日
新潟市まち・ひと・しごと創生会議
小見委員提供資料

新潟市まち・ひと・しごと創生会議

【教育×地域創生】 新潟市における高校を核とした取り組み事例

自分から自分らしく みんなとともに社会をつくる人を育てる



NPO法人みらいずworks 代表理事
認定キャリア教育コーディネーター
文部科学省コミュニティ・スクール推進員
(CSマイスター)
小見まいこ



【2019年度 研修や授業数】

106件

【2019年度 事業提供人数】

7,143名

対象者	対象種別ごとの合計
小学生	32
中学生	1609
高校生	2566
教員を含む大人	2724
大学生	212
合計	7143

「自分から 自分らしく

みんなとともに

社会をつくる人を育てる」を

ミッションに活動。

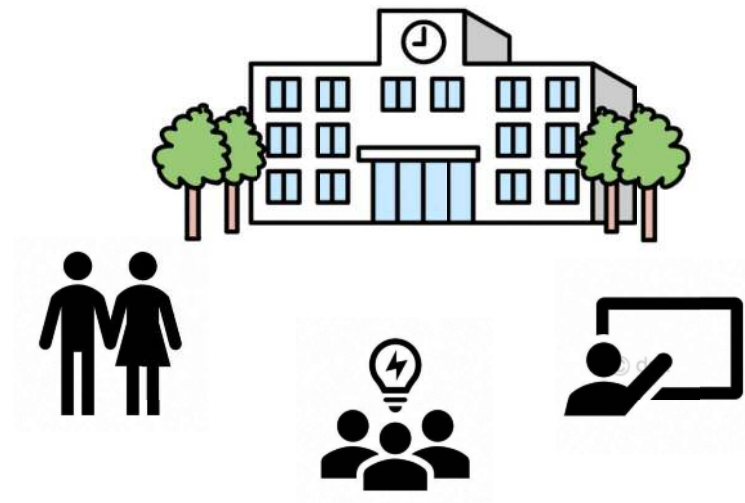
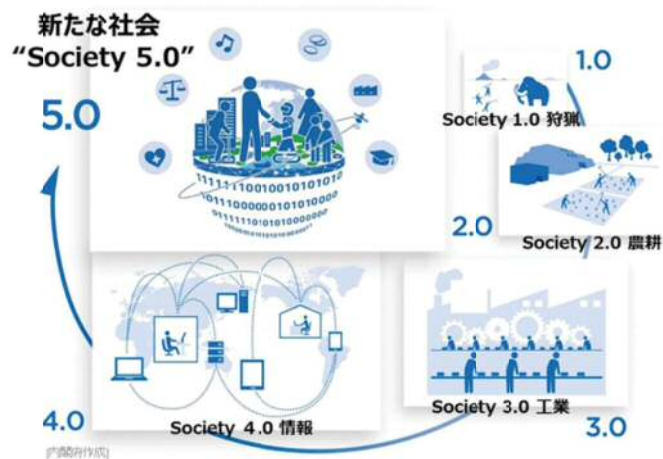
(学校教育・社会教育支援事業)

- ・設立9年目
- ・新潟市西区に事務所
- ・常勤2名、非常勤4名

はじめに【前提】

社会の変化 → 学びの変化

* Society 5.0



平成30年6月15日 統合イノベーション戦略より

H29.30改訂：**学習指導要領**（10年に1度変わる、国が定める教育の指針）

社会に開かれた教育課程

※各学校の教育計画のこと
学校で学ぶ内容を定めている

※もちろん計画だけでは意味がないので、
それを実行・評価し、PDCAを回していく
カリキュラム・マネジメントが大切

これからの教育課程の理念

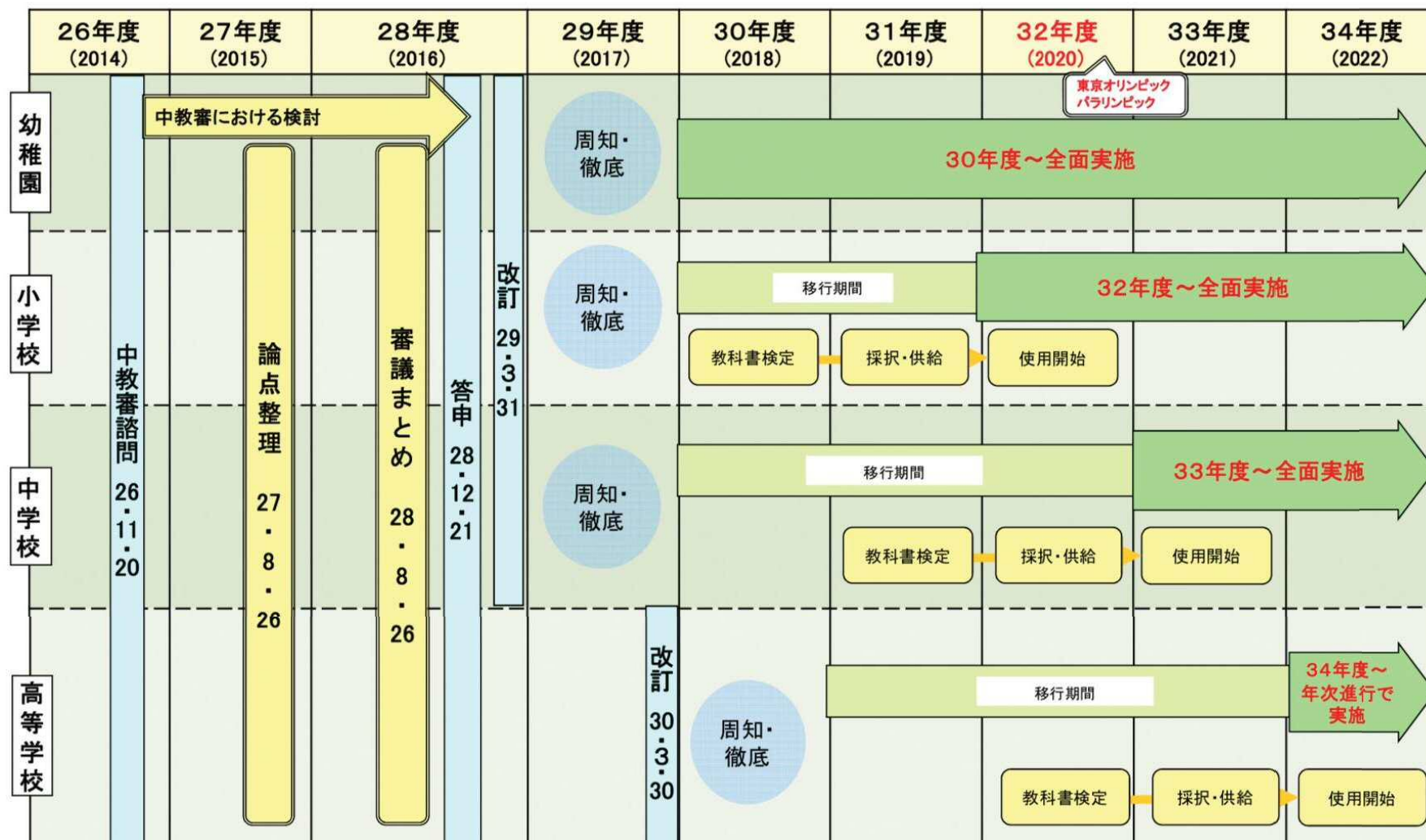
よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携・協働によりその実現を図っていく。

<社会に開かれた教育課程>

- ① **社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。**
- ② **これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。**
- ③ **教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。**

※文部科学省「新しい学習指導要領の考え方～中央教育審議会における議論から改定そして実施へ～」より

今後の学習指導要領改訂に関するスケジュール



特別支援学校学習指導要領(幼稚部及び小学部・中学部)についても、平成29年4月28日に改訂告示を公示。
特別支援学校学習指導要領(高等部)についても、高等学校学習指導要領と一体的に改訂を進める。

高校では：新設教科「総合的な探究の時間」がスタート

高等学校の各学科に共通する教科・科目等及び標準単位数

〔改訂〕				〔現行〕				
教科	科目	標準単位数	必修科目	教科	科目	標準単位数	必修科目	
国語	現代の国語	2	○	国語	国語総合	4	○2単位まで可	
	言語文化	2	○		国語表現	3		
	論理国語	4			現代文A	2		
	文学国語	4			現代文B	4		
	国語表現	4			古典A	2		
	古典探究	4			古典B	4		
地理歴史	地理総合	2	○	地理歴史	世界史A	2	□○	
	地理探究	3			世界史B	4		
	歴史総合	2	○		日本史A	2		
	日本史探究	3			日本史B	4		
	世界史探究	3			地理A	2		
公民	公共倫理	2	○	公民	現代社会	2	「現代社会」又は「倫理」・「政治・経済」	
	倫理	2			倫理	2		
	政治・経済	2			政治・経済	2		
数学	数学Ⅰ	3	○2単位まで可	数学	数学Ⅰ	3	○2単位まで可	
	数学Ⅱ	4			数学Ⅱ	4		
	数学Ⅲ	3			数学Ⅲ	5		
	数学A	2			数学A	2		
	数学B	2			数学B	2		
	数学C	2			数学活用	2		
理科	科学と人間生活	2	「科学と人間生活」を含む2科目又は基礎を付した科目を3科目	理科	科学と人間生活	2	「科学と人間生活」を含む2科目又は基礎を付した科目を3科目	
	物理基礎	2			物理基礎	2		
	物理	4			物理	4		
	化学基礎	2			化学基礎	2		
	化学	4			化学	4		
	生物基礎	2			生物基礎	2		
	生物	4			生物	4		
	地学基礎	2			地学基礎	2		
地学	4	地学	4					
保健体育	体育	7~8	○	保健体育	理科課題研究	1	○	
	保健	2			体育	7~8		
芸術	音楽Ⅰ	2	○	芸術	保健	2	○	
	音楽Ⅱ	2			音楽Ⅰ	2		
	音楽Ⅲ	2			音楽Ⅱ	2		
	美術Ⅰ	2			音楽Ⅲ	2		
	美術Ⅱ	2			美術Ⅰ	2		
	美術Ⅲ	2			美術Ⅱ	2		
	工芸Ⅰ	2			美術Ⅲ	2		
	工芸Ⅱ	2			工芸Ⅰ	2		
	工芸Ⅲ	2			工芸Ⅱ	2		
	書道Ⅰ	2			工芸Ⅲ	2		
	書道Ⅱ	2			書道Ⅰ	2		
	書道Ⅲ	2			書道Ⅱ	2		
	外国語	英語コミュニケーションⅠ			3	○2単位まで可		外国語
英語コミュニケーションⅡ		4	コミュニケーション英語基礎	2				
英語コミュニケーションⅢ		4	コミュニケーション英語Ⅰ	3				
論理・表現Ⅰ		2	コミュニケーション英語Ⅱ	4				
論理・表現Ⅱ		2	コミュニケーション英語Ⅲ	4				
論理・表現Ⅲ		2	英語表現Ⅰ	2				
家庭	家庭基礎	2	□○	家庭	英語表現Ⅱ	4		
	家庭総合	4			英語会話	2		
情報	情報Ⅰ	2	○	情報	家庭基礎	2	□○	
	情報Ⅱ	2			家庭総合	4		
理数	理数探究基礎	1	○	情報	生活デザイン	4		
	理数探究	2~5			社会と情報情報の科学	2		
総合的な探究の時間				3~6	○2単位まで可			
総合的な学習の時間				3~5	○2単位まで可			

* 学習指導要領の改訂





高等生のより良い進路選択に向けた「キャリア教育」・「総合的な探究の時間」に対するニーズの調査概要



実施：NPO法人みらいずworks
※トヨタ財団しらべる助成の助成を受けて、実施しました。

エリア	新潟県
調査対象	高校生（新潟県内4高校）
調査校	新潟東高等学校、新潟南高等学校、白根高等学校、新発田中央高等学校
回答数	857名
実施期間	2019年9月～11月
調査方法	質問紙調査

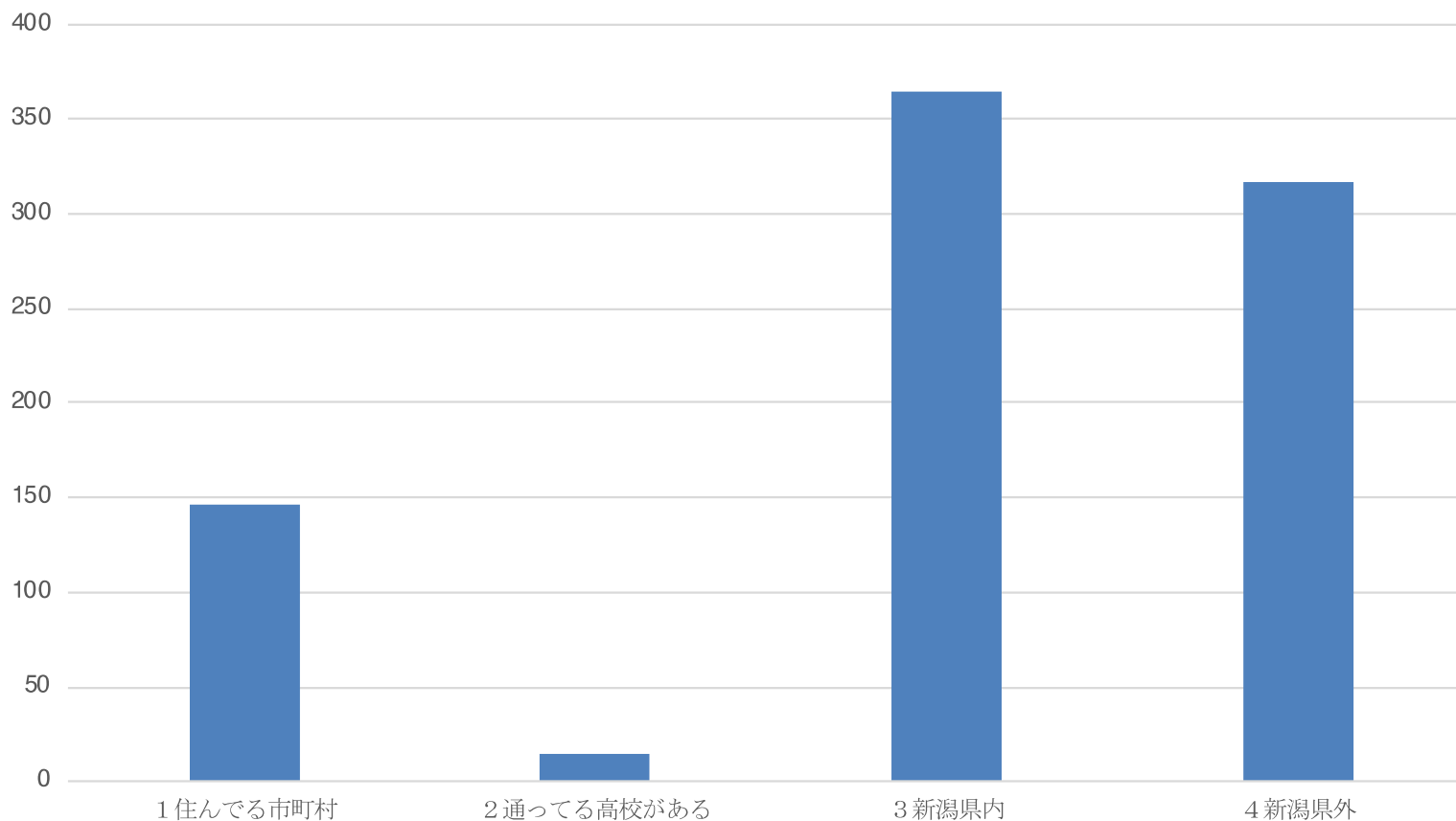


働きたい地域は？



質問：現時点で将来働きたいと考えている地域について、あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。

N=843



37%が新潟県外での就職を希望

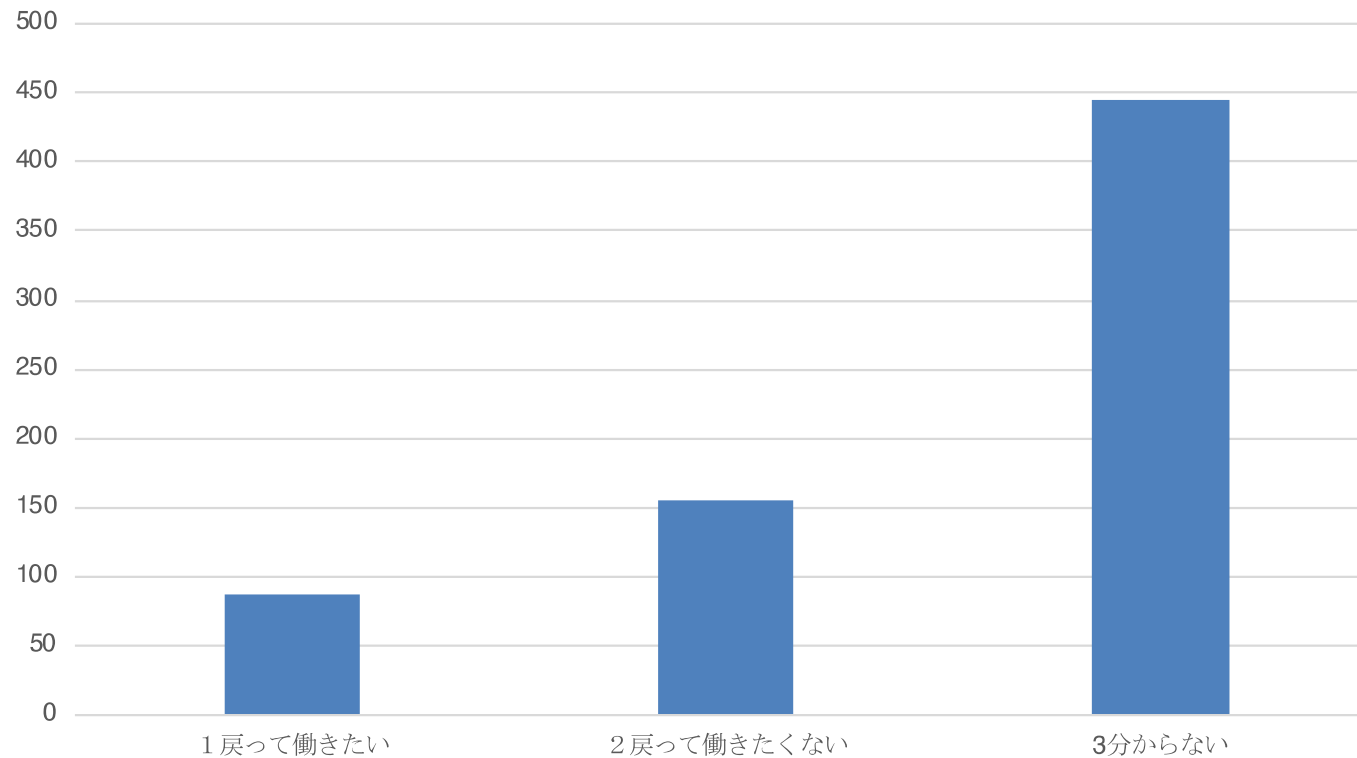


いつか戻って働きたい？



質問：現在住んでいる、もしくは今通っている高校がある市区町村にいつか戻って働きたいと考えていますか。

N=688



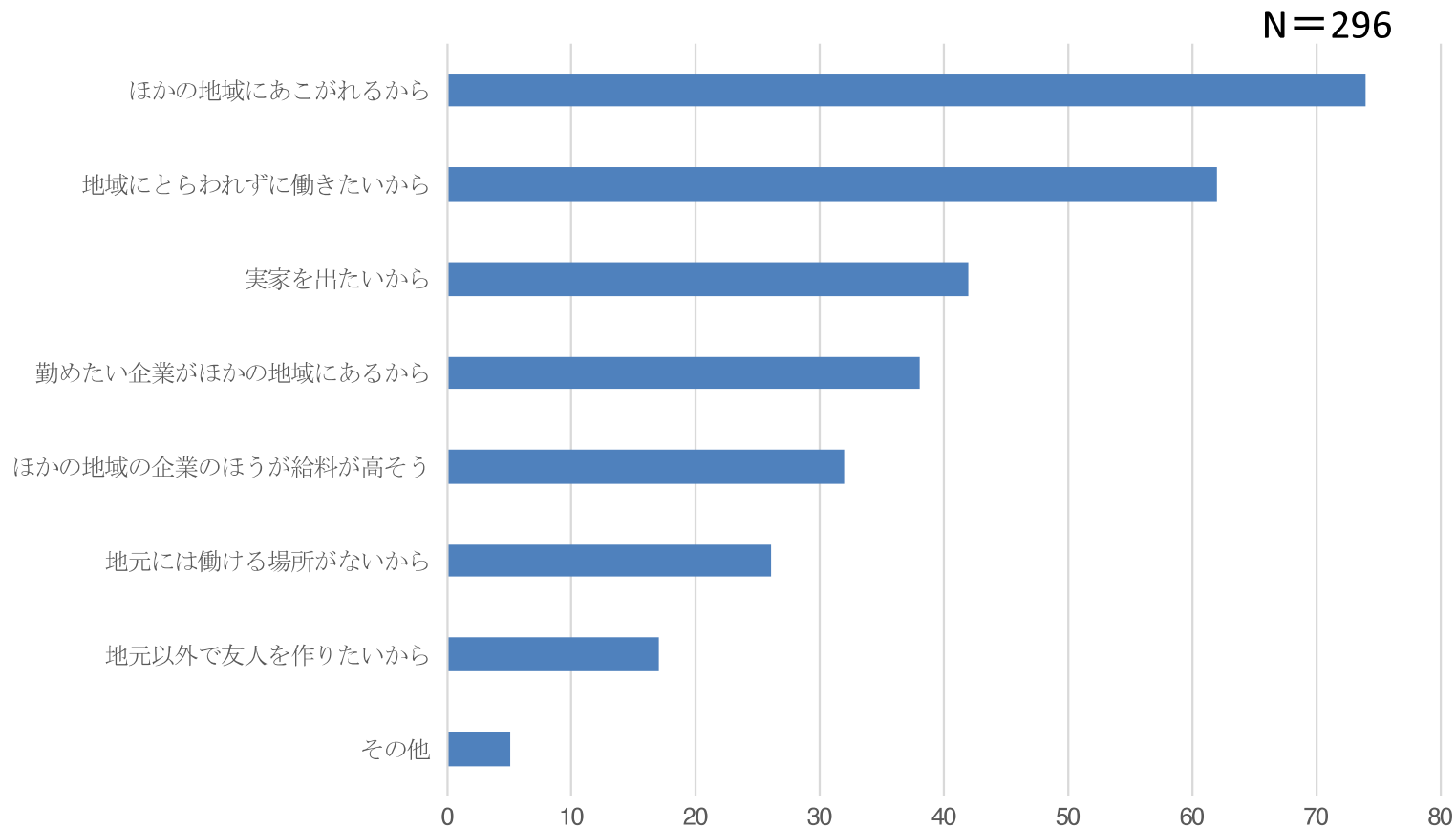
戻って働きたい人より戻りたくない人は2倍



戻って働きたくない理由は？



質問：戻って働きたくないに選んだ理由として、当てはまるもの全てに○をつけてください。【複数回答】



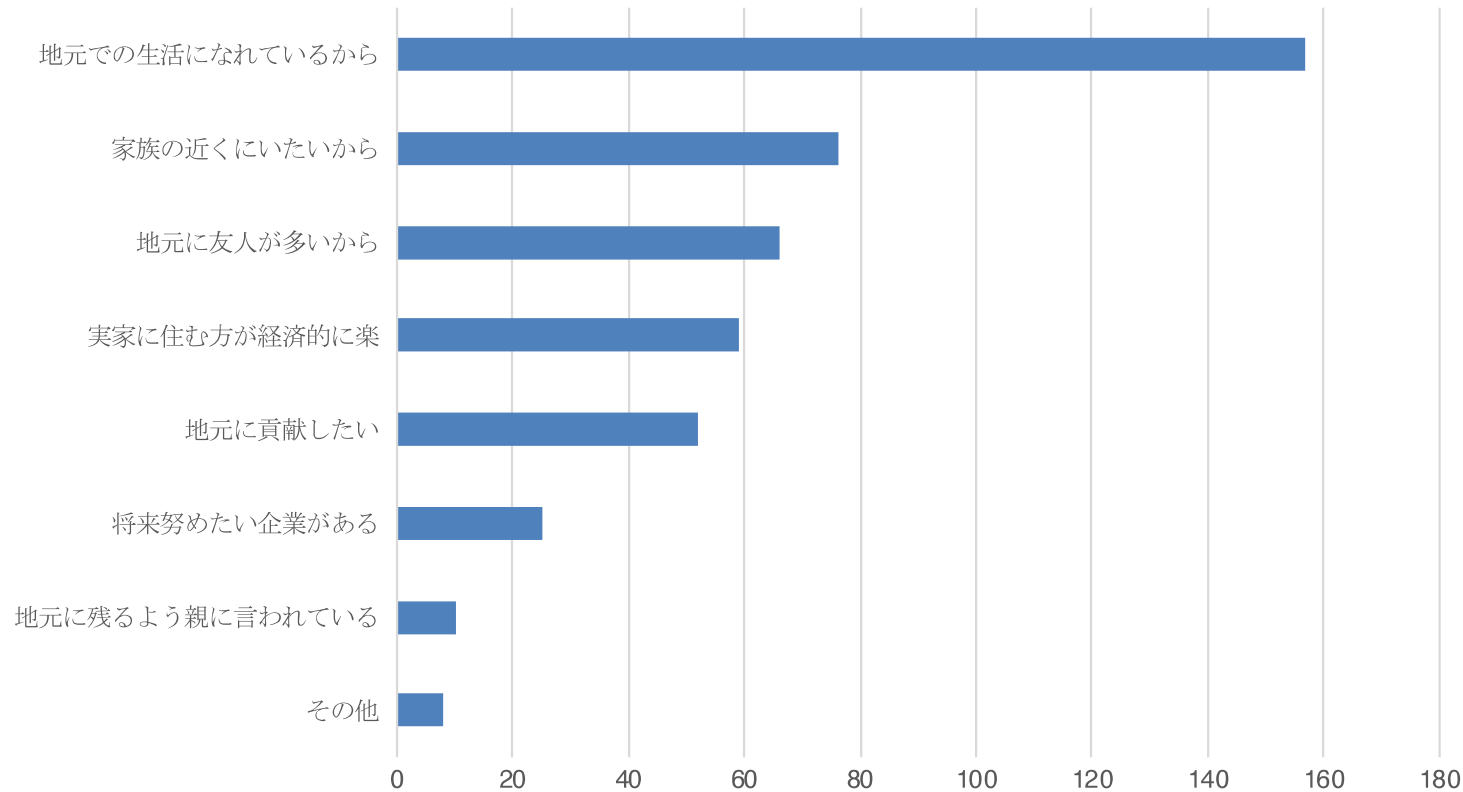
他の地域に対する憧れがトップに



地元で働きたい理由は？



質問：現在住んでいる、もしくは高校がある市町村で働きたくないと思う理由は何ですか理由として、当てはまるもの全てに○をつけてください。
【複数回答】 N=453



意志や希望があっても残るよりも、慣れで新潟にいたいという理由がトップに

第2期「総合戦略」 <第2期「総合戦略」の政策体系>



◆: KPIの項目、目標値及び目標年度(目標年度の記載のない項目の目標年度は2024年度)

- ① 地方大学の振興等による地域産業の担い手づくり
- ② 高等学校の機能強化等

地域への課題意識や貢献意識を持ち、将来、地域ならではの新しい価値を創造し、地域を支えることができる人材の育成に向けて、高等学校の段階で地域を知り、親しむ機会を創出することが重要

このため、地域と高等学校の協働によるコンソーシアムの構築や、地域と高等学校をつなぐコーディネーターの配置・活用、キャリア教育、RESASを用いた地域学習など、地域と高等学校が連携・協働して、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組等を推進する。

高校生の探究的な学びづくりの支援に取り組んでいます！

学習指導要領の改訂により、高等学校の「総合的な学習の時間」は2022年度から「総合的な探究の時間」という科目に変わります。生徒が主体的に課題を設定し、情報の収集や整理・分析を通して、自己の生き方やあり方を考える、探究的な学びを生み出すことが目的です。試行期間である今年度は、県内3高校の「総合的な探究の時間」1学年のカリキュラム開発・実演運営に携わりました。社会が大きく変化している今、生徒たちの未来を切り開く力を育むために、新たな学びのあり方と仕組みを先生方と一緒に探究しています！

新潟県立新潟東高等学校

在校生の約65%が新潟市東区在住である東高校。1学年ではまず地域を深く知ることを目的に「地域発見活動」に取り組みました。東区内の企業45社にご協力いただき、生徒がグループに分かれて企業へ取材活動(2日間)を行い、その企業のPR動画(3分程度)を作成します。みらいずworksは、企業と学校を繋ぐコーディネートと、授業カリキュラム開発・運営の支援を行いました。また今年度、東高校が包括連携協定を結んだ新潟経営大学との協働も進めながら、持続的な学びの体制づくりを探求しています。



2018年10月・12月に全職員研修にて「総合的な探究の時間」カリキュラムづくりに向け、目指す生徒像や探究を核に各教科で育みたい資力能力の検討を行いました。



5月21日、オリエンテーション授業の様子。新潟市東区役所地域課の川崎さんをお招きし、東区の現状に即して地域発見における課題、取り組みについてお話をいただきました。



動画のコンセプトづくりを経て、7月25日、8月23日に企業へ取材活動に、2日目にカメラを持って動画撮影を行いました。3月12日の発表会に向けて、動画編集に取り組んでいます。

新潟県立白根高等学校

新潟市南区唯一の高校である白根高校。今年度より南区の予算でコーディネーターが配置されています。1学年での学びの到達目標を「地域社会を知る」「自己肯定感を高める」「チームワークや協働性を高める」に据え、新潟市南区と協働した授業をスタート。白根高工会を中心に発足した「白根子行進曲」の企画準備に、1年生67名が「総合的な探究の時間」を活用して携わりました。「新商品開発チーム」「まちなみ雰囲気チーム」「販装でツアーターム」の3つのテーマに分かれ、イベントの作り手側としてまちに関わりました。



新商品開発チームは、白根高商店のB店舗とコラボして、イベント当日に販売する新商品を考え提案しました。当日は店舗スタッフとして、お客さんとやり取りする実演が実現しました。



まちなみ雰囲気チームは、高商店全体のまちなみ(建物・景色・風景)について考え、地元建設会社とコラボしてシャッターや花壇に色塗りを行いました。イベント当日のペイントアートも好評でした。



販装でツアータームは、お客さんと白根のまちを案内する「まちあるき」ツアーを考え、実施しました。

新発田中央高等学校

新発田市内6社の企業から課題を提示してもらい、その提案を考えるミッション型の探究に取り組みました。生徒はグループで課題に取り組み、夏休みには有志生徒が企業見学やフィールドワークや協働性を高める」に据え、新潟市南区と協働した授業をスタート。白根高工会を中心に発足した「白根子行進曲」の企画準備に、1年生67名が「総合的な探究の時間」を活用して携わりました。「新商品開発チーム」「まちなみ雰囲気チーム」「販装でツアーターム」の3つのテーマに分かれ、イベントの作り手側としてまちに関わりました。



企業6社の担当者よりミッションが発表され、問いやアイデア出しを行いました。全体でのパネルディスカッションにより、各社のミッションや経営のまちとの関係性を引き取りました。



9月には、大生18名と生徒の提案をブラッシュアップする授業を行いました。そもそも探究ってどんな楽しみ?どんな視点や考え方が必要?大生との交流で刺激を受けた様子でした。



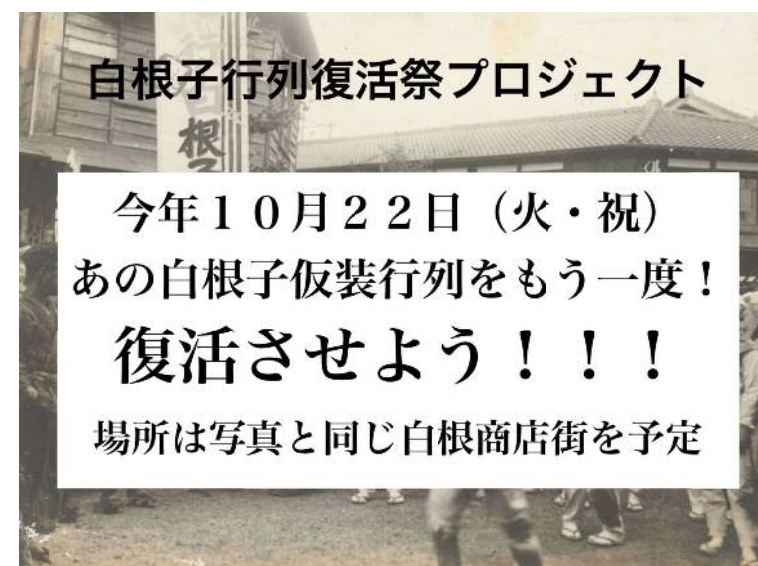
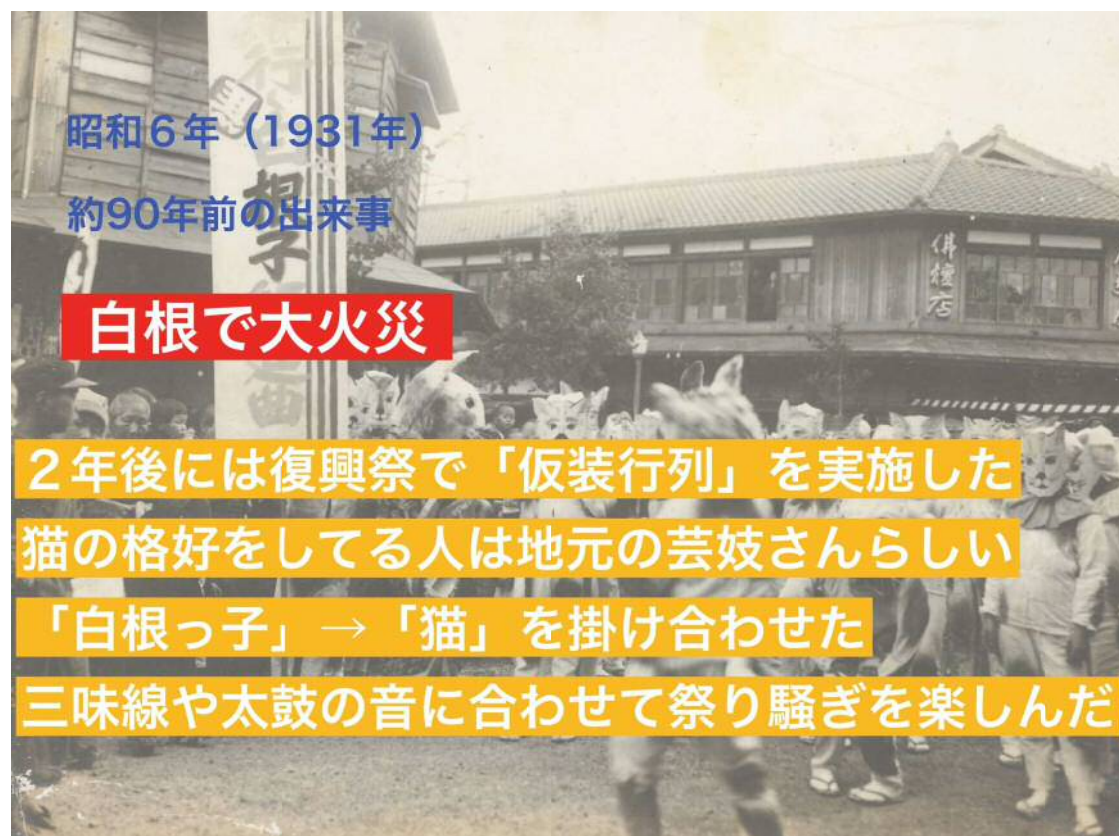
ミッションの提案発表会、プレゼンを相互評価しながら、各ミッションに取り組むことで見えてきた新発田やまちの課題を見つめ、来年度の探究に繋げる視点を育みました。

2019年度は、新潟県立、市立、私立8校の地域での探究学習の支援に携わりました。

★新潟県立白根高等学校 1学年 67名（2クラス）

【総合的な探究の時間（年35時間）】

地域の祭り（白根子行列復活祭プロジェクト）の企画運営を行った



白根子行列復活祭プロジェクト

<みんなに授業で取り組んでほしいこと>
一緒にこの復活祭プロジェクトの作り手になってほしい

白根高校 × 白根商店街

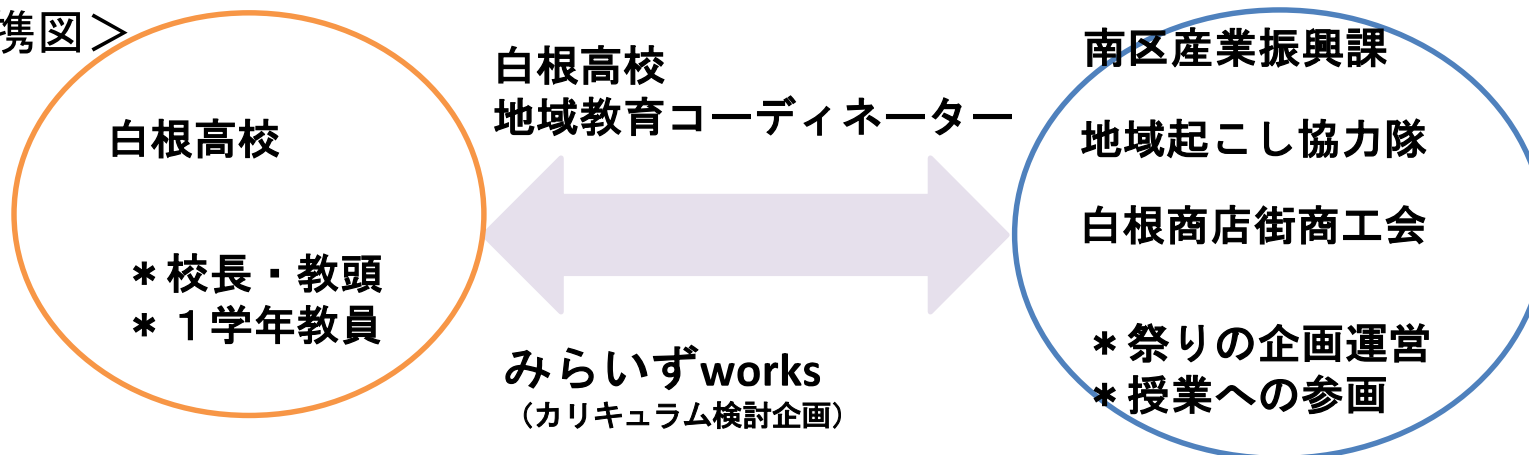
新商品開発
チーム

まちなみ
雰囲気
チーム

仮装で
ツアー
チーム

★生徒は3チーム、
16グループに分かれて
プロジェクトに参加

<連携図>



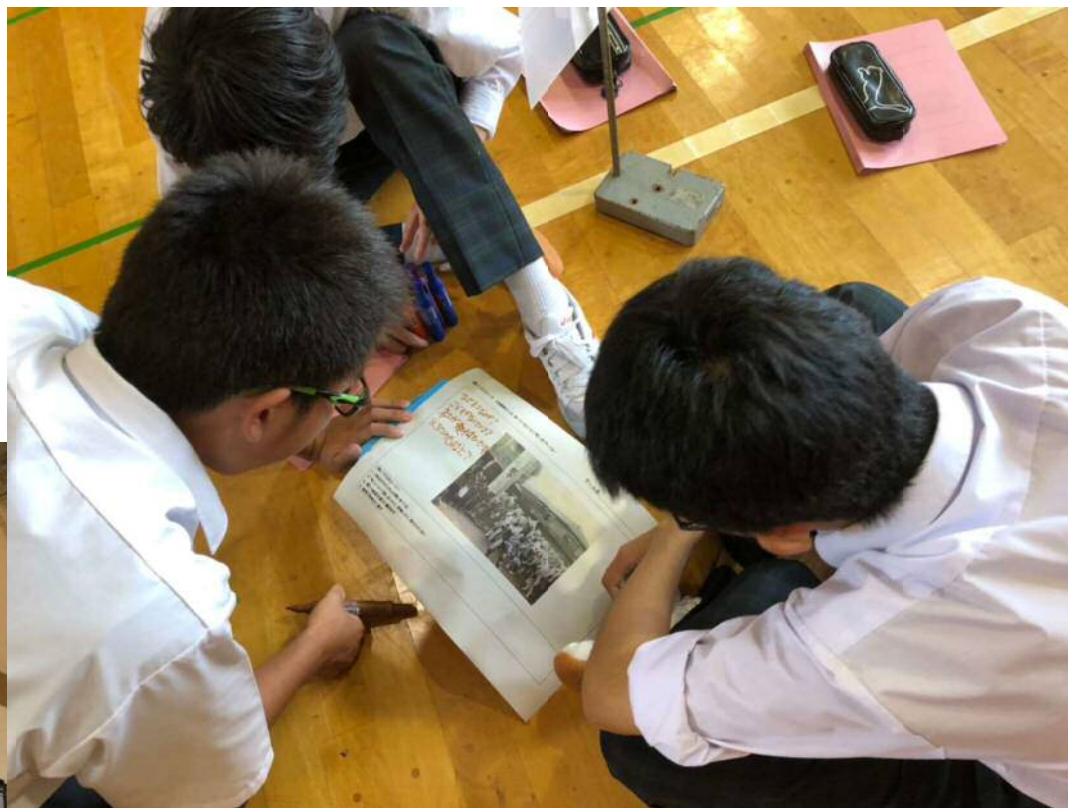
2019年「白根子行列プロジェクト」の流れ

- * 7月8日 「白根子行列プロジェクト」
オリエンテーション授業
- * 7月26日 各チームごとに情報収集など
- * 7月30日 白根商店街のまち歩き・インタビュー
- 31日
- * 8月30日 各チームに分かれてアイデアの検討
- * 9～10月 アイデアを改善・実行
★チームごとにヒアリングや連絡調整
- * 10月22日 「白根子行列祭り」当日
- * 10月26日 文化祭にて、成果の発表
- * 11月1日 学びの振り返り授業
- * 1月17日 学びの成果発表会



7月8日

* 白根子行列について
新潟市南区地域起こし協力隊
蛭間さんよりレクチャー



* 90年前の白根子仮装行列の
写真をテーマに問いづくり



プロジェクトを
自分なりの視点で捉える



7月30日、31日 白根商店街のまちあるきとヒアリング



★タウンガイドさんと
まちあるき

天昌堂★

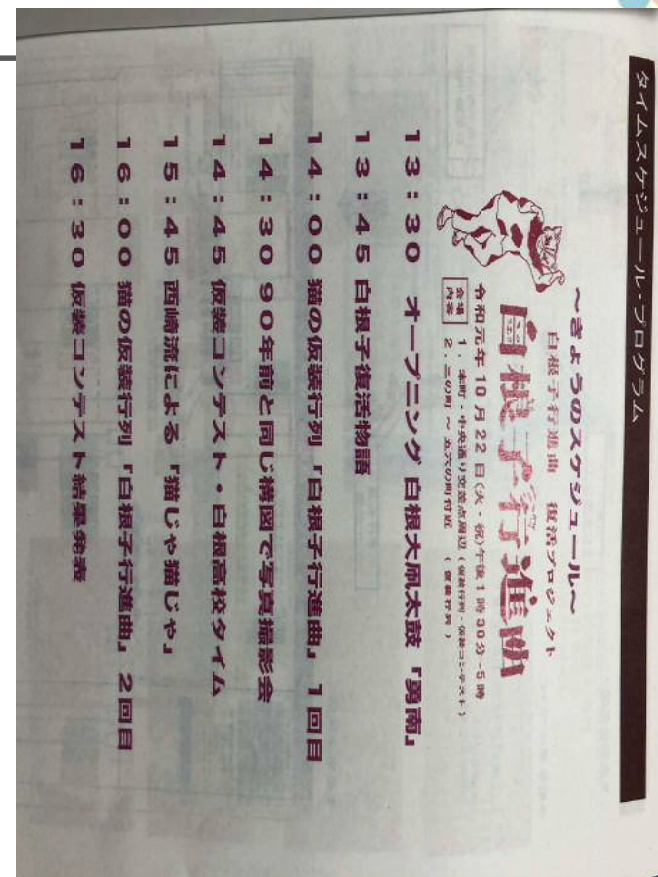


★商店街の店主にヒアリング

【白根子行進曲】当日 2019年10月22日（火・祝）



- * 8店舗で新商品コラボ
- * まちあるき
- * シャッターのペンキ塗り

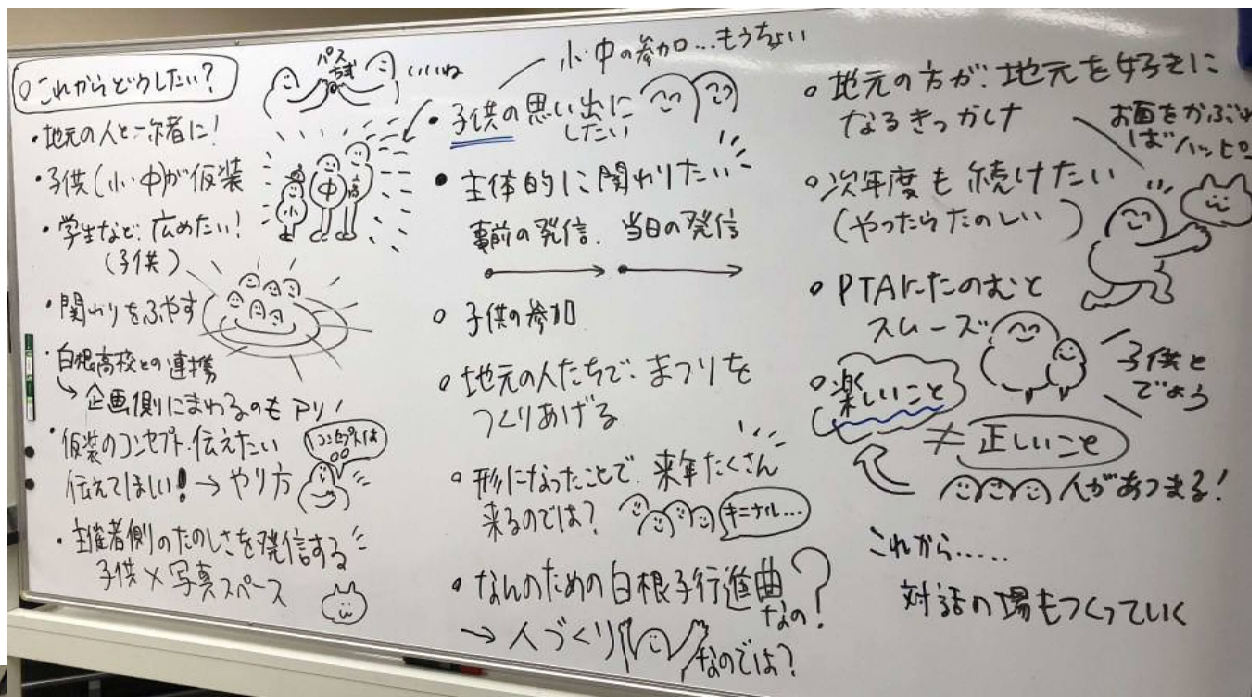


実行委員の振り返り会に 高校生が自主的に参加

「来年は企画に
1から関わりたい」



高校生もまちの担い手に



<実行委員の声>

「高校生が関わってくれたことが良かった」

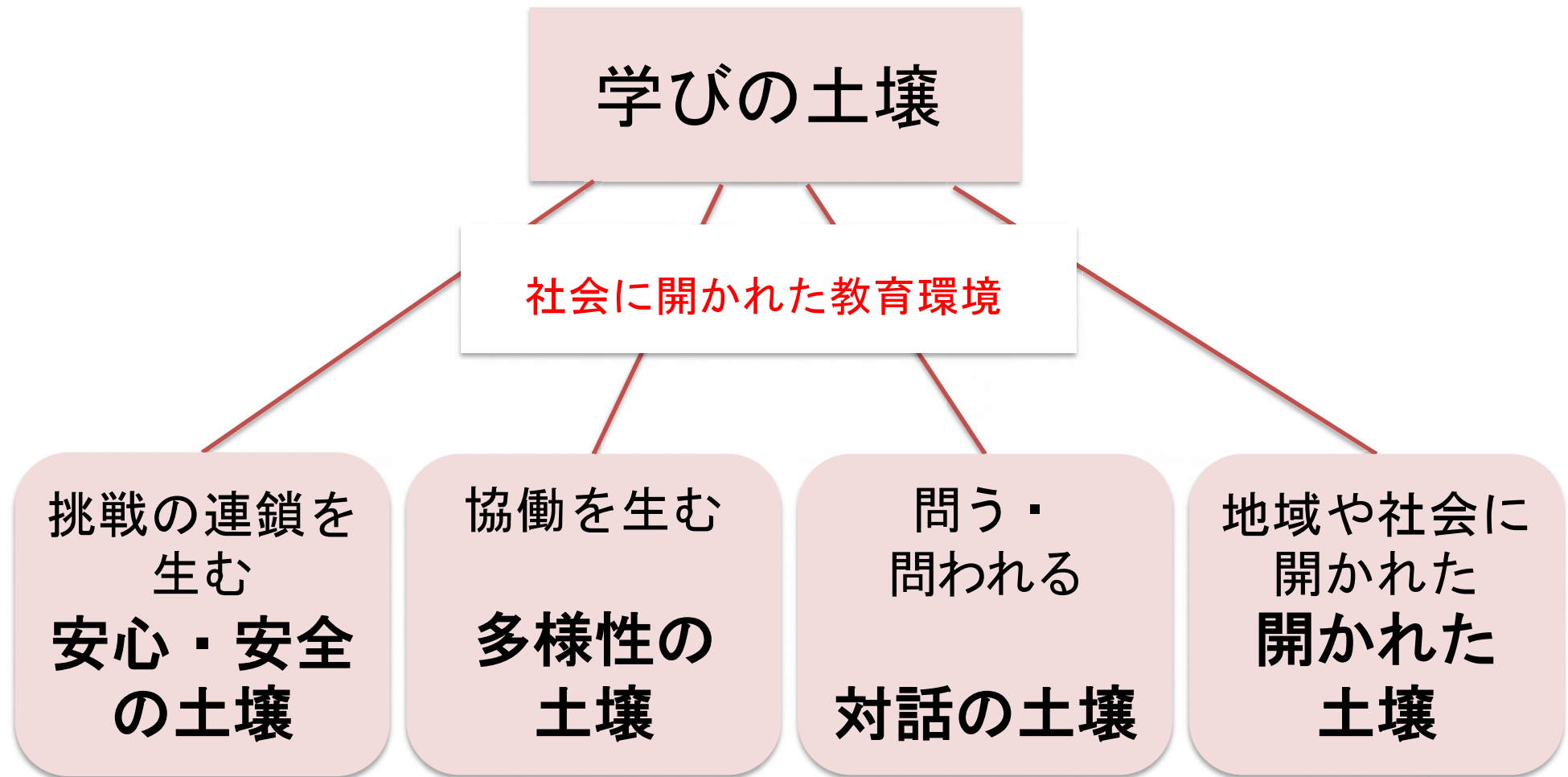
「祭り前日、商店街に高校生がたくさん
歩いている姿を見て、泣きそうになった」

「南区の人が、南区を好きになるために
このイベントをやっていくべきなのは」

「続けることが目的の祭りにしたくない」

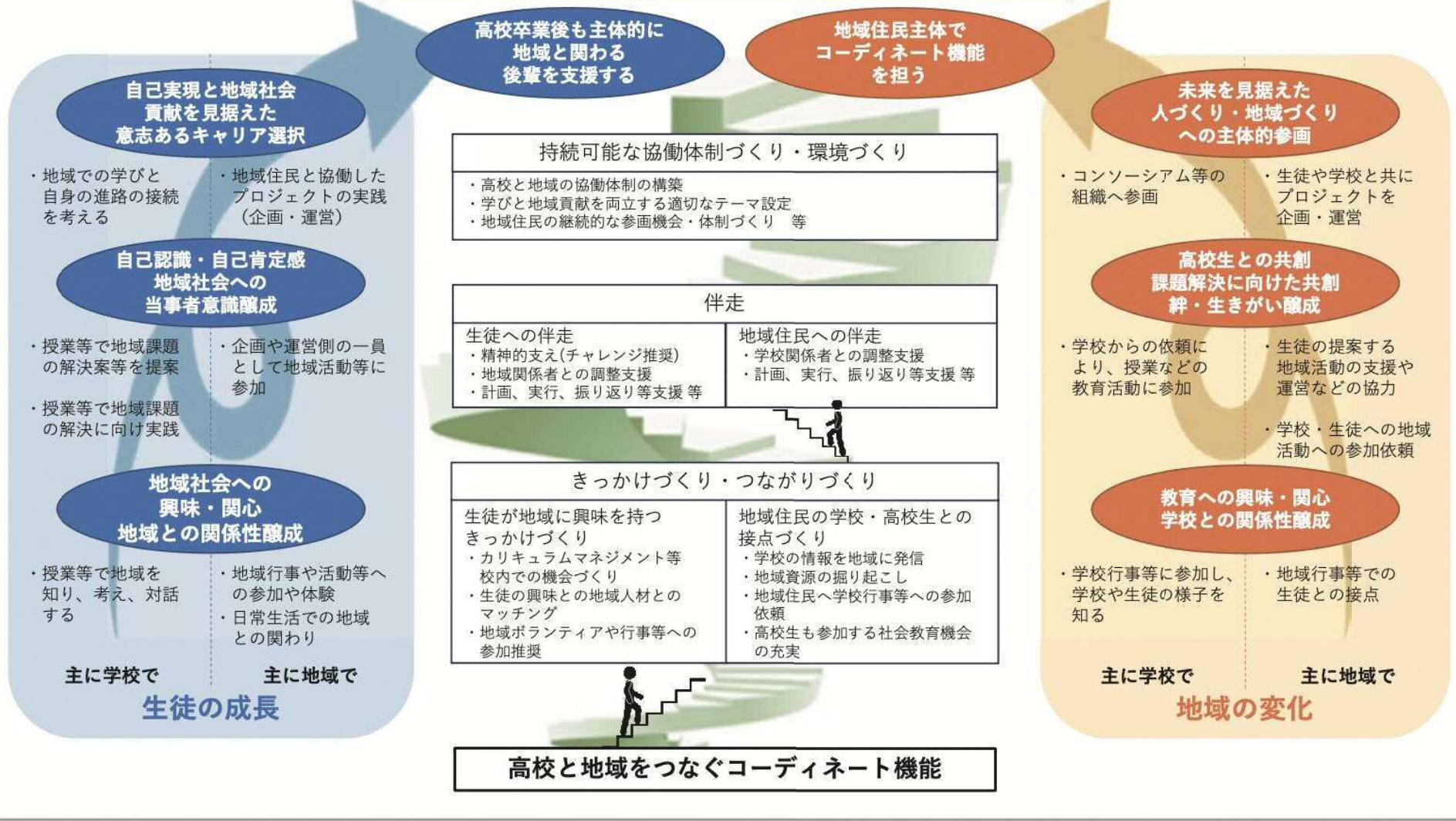


高校生を地域の担い手として育てていくには、高校だけではなく、地域（企業・行政・NPO・大学等）との協働は欠かせない！



高校と地域の協働による生徒の成長と地域の変化イメージ

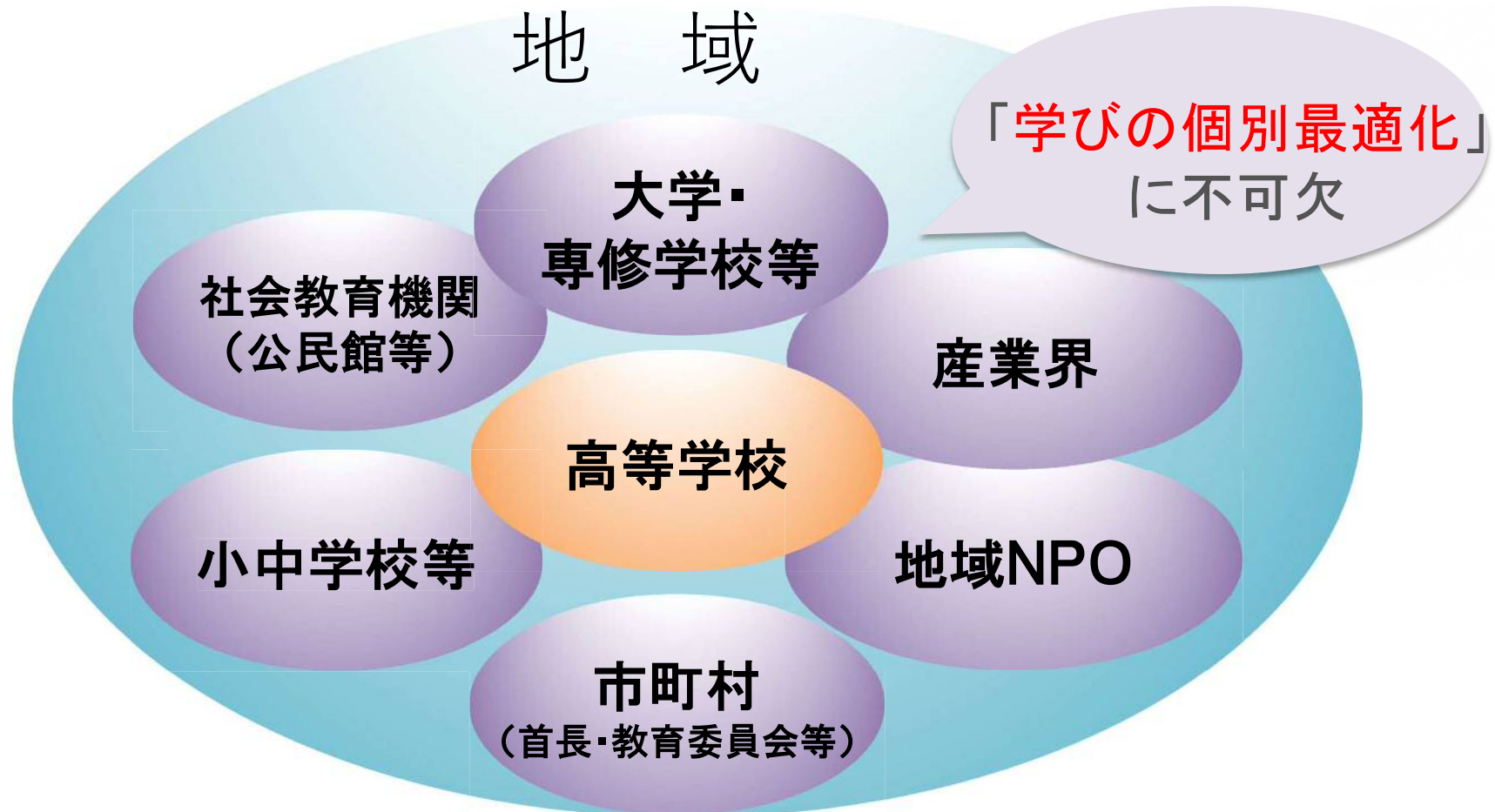
地域の教育力・自治力向上、持続可能な人づくりの循環



文部科学省2019年度「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」
 PDCAサイクル構築のための調査研究事業「高校と地域をつなぐ人材の在り方に関する研究会」報告書より抜粋



各生徒の興味関心と地域の課題とを効果的にマッチングする組織



▶ 高校生が地域でチャレンジできる体制や機会づくり

ご清聴ありがとうございました

